

水道トピックス

(VOL.4)平成14年

水道事業管理者からごあいさつ

市民の皆様には、水道事業にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。
今年、夏季の渇水がなく、1年を通じて安定した給水ができる見込みであります。
現在、荒川の上流には滝沢ダムが、利根川の上流にハツ場ダムほか、建設されています。
このダムは、利水と治水の役割を果たすため、長い年月をかけ建設されるもので、水道事業にとっては、安定給水のため必要不可欠の施設であります。
今回の水道トピックスは、平成13年度水道事業会計の収支結果や入間市の水道の水源などについてお知らせいたします。

平成13年度水道事業会計の収支結果について

(1) 水道料金

平成11年度に改定された現在の水道料金は、平成11年度から15年度までの5年間の収支予測をもとに決定されています。

平成13年度決算時における水道料金収入は、料金改定時の見込額に対して、約1億6,300万円の減収になっています。

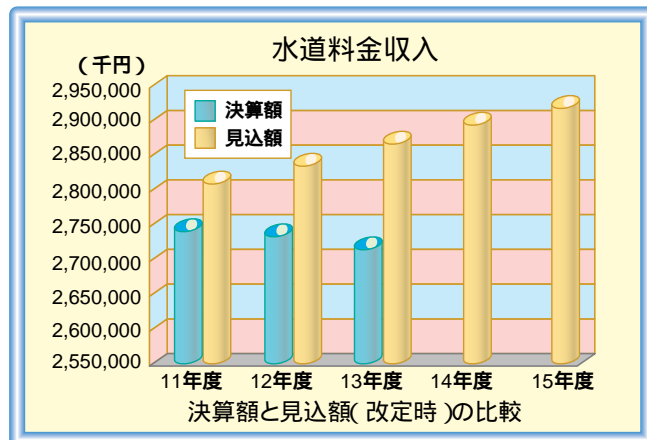
料金収入が伸びなかった主な要因

景気低迷により、事業用の水需要が減少傾向にあること。

人口の増加が予想を下回り、水需要が伸び悩んだこと。

使用者の節水意識が高まったこと。

こうした傾向は今後も続き、水道料金収入の大幅な増加は見込めないものと思われます。



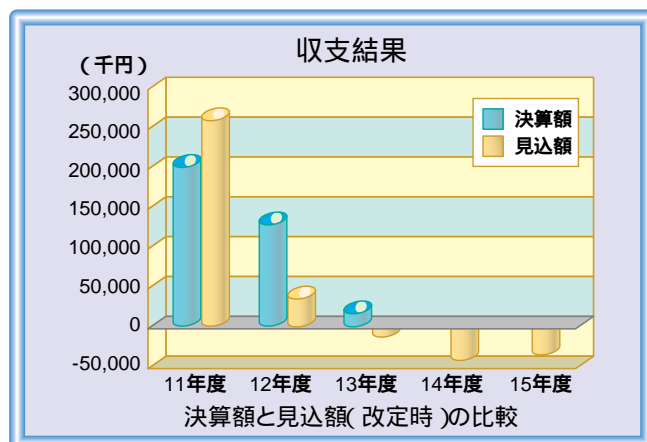
(2) 平成13年度水道事業会計の収支報告

平成13年度水道事業会計は、1,494万3千円の利益をあげることができました。水道料金改定時には、162万4千円の損失を見込んでいたので、約1,700万円利益が増加したことになります。

利益に転じた主な理由

水道料金等の収益は見込額を約1億6,000万円下回っていますが、減価償却費が約6,400万円、借入金の支払利息が約1億1,400万円減少し、費用の大幅で収益の落ち込みを補うことができました。

$$\text{利益(または損失)} = \text{収益} - \text{費用}$$



決算の結果が目標を上回るよう効率的な経営を進めてまいりますので、よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

入間市の水源 水はどこから来るの？

入間市の水道水は、入間市で作った飲料水（自己水）と埼玉県から購入した飲料水（県水）の二つに分けることができます。

自己水には、鍵山浄水場で入間川の水を取水し、浄化したものと、藤沢水源地で地下水を汲み上げ、浄化したものがあります。

県水とは、埼玉県営水道の大久保浄水場から入間市に送られてくる水のことをいいます。

入間市の水道水の内訳は、自己水が約5%、県水が約95%で、自己水の割合はそれほど大きくありませんが、湯水時や緊急時に備え、2系統以上の水源を確保するという意味からも、非常に重要な役割を果たしています。

埼玉県営水道(大久保浄水場)

入間市に送られてくる県水は、さいたま市にある大久保浄水場で作られた飲料水です。

大久保浄水場は、敷地面積が西武ドームの約7倍もある、日本で4番目に大きな浄水場で、荒川から取り入れた水に、消毒・ろ過などの処理をして、1日最大130万トンもの清浄な水を作ることが可能です。大久保浄水場では現在、18市町の約350万人に給水しており、このうち入間市では、1日平均約47,800トンの水を豊岡・藤沢などの配水場で受け入れ、そこから皆様のご家庭に配水しています。

大久保浄水場は、利根川の水を利根大堰・武蔵水路を通して荒川に合流させる注水口（鴻巣市）の下流にあります。よって、入間市に送られてくる県水は、利根川と荒川の両方をその水源にしていることになります。



親子ダム施設見学会レポート



〔滝沢ダム完成予想図〕

毎年、水道週間（6月1日～7日）には、全国各地で水道部ではこの期間中、水道水の「みなもと」であるダムに実施しています。この見学会は、学校で水道についており、今年も6月1日～2日に一泊二日で、鍵山浄水場、浦川の博物館（寄居町）の4ヶ所を見学して来ました。

行程のメインとなるのはもちろん、二つのダムの見学。父市街を抱えた都市近郊型のダムで、「地域に開かれた」の中津川に、自然環境との調和をはかりながら、現在建

大きな役割を果たす、私たちの生活を支えるために、たい

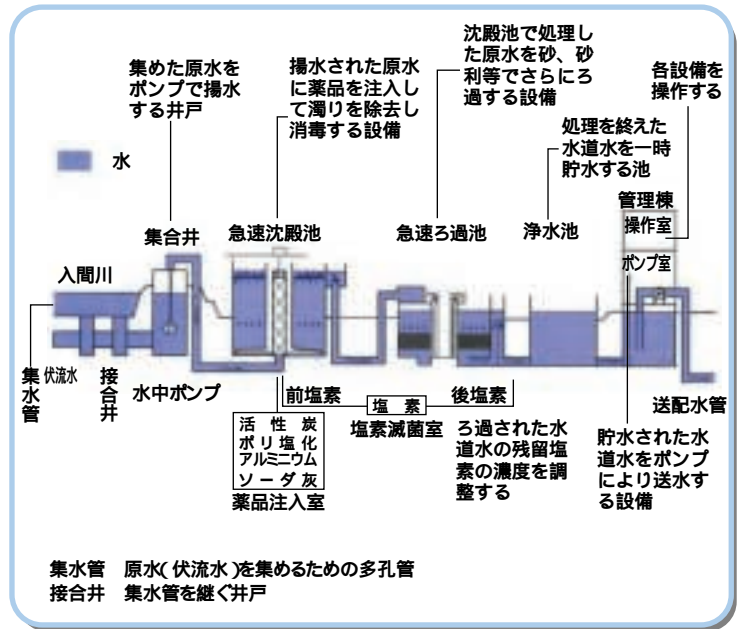
ダムの見学以外にも、鍵山浄水場で、実験中の新しい認したり、さいたま川の博物館で、荒川大模型を使ってホテルでも、同行した先生が、ダムや周辺地域について学

私たちが使用する「水」は、水源地域に住んでいた方

るものです。みなさんも、家族や仲間とダムを訪ねて、「水

鍵山浄水場(鍵山3-5-5)

鍵山浄水場では、入間川の伏流水（川底にできた砂利層を流れる水）を集合井から取水し、その後、急速沈殿池・急速ろ過池を通す間に、凝縮沈殿・ろ過・消毒という3段階の浄水処理をして、1日平均約2,000トンの安全で良質な飲料水を作っています。



鍵山浄水場では、毎年6月初旬の水道週間期間中に、施設の一般公開を実施しています。飲料水を作る過程を見学できるチャンスですので、ぜひ足をお運び下さい。詳しくは5月15日号の広報いるまかホームページをご覧ください。

鍵山浄水場では現在、老朽化した施設の大規模な改修を計画しています。詳細が決まり次第、広報いるま、ホームページなどでお知らせいたします。



藤沢水源地(下藤沢594-3)

藤沢水源地では、地下264メートルの深井戸から地下水を汲み上げ、浄水処理をして、1日平均約270トンの安全で良質な飲料水を作っています。

について考えるためのイベント等が行われています。水について考えることなどを目的に、「親子ダム施設見学会」学ぶ小学四年生の親子(抽選により20組)を対象として浦山ダム(荒川村)滝沢ダム建設現場(大滝村)さいたま

です。浦山ダムは、荒川上流の浦山川にあり下流に秩父ダムをめぐっています。一方の滝沢ダムは、荒川上流建設中です。どちらのダムも、洪水調節や取水の安定化に重要な施設です。

浄水システムで作られた水を飲み比べて味の違いを確かな流れの制御を体験したりしました。また、宿泊先の水がオリエンテーションを行いました。

の協力や周辺の自然環境が守られてはじめて確保された水の大切さを改めて考えてみてはいかがでしょうか。



〔浦山ダム(さくら湖)航空写真〕

水道部職員を装った悪質な訪問販売にご注意を!



最近、突然お客様のご家庭へ訪問し、水道部職員を装ったり、水道部から依頼されたと偽ったりして、浄水器の販売や水道管洗浄の勧誘をしたりする、悪質な訪問販売が多発しています。水道部では、以下のようなことは行っておりませんので十分ご注意ください。

お客様の家庭へ訪問し、浄水器の販売・斡旋などを行うこと。
突然訪問して、水質検査をしてお金をいただくこと。
お客様の敷地内の水道管（給水管）は老朽化しているので配管替えが必要だと言い、工事や水道管洗浄の契約などを行うこと。

不審と思ったら・・・

身分証明書等の掲示を求めてください。また、不審に思ったら、市水道部にお問い合わせください。

担当：水道施設課 内線2242

漏水にご注意ください!

漏水は、見た目にはわずかでも1日24時間毎日となると大変な量になり、**その料金もお客様のご負担となります**。宅地内の水道設備（給水装置等）を管理するのはお客様ご自身です。

漏水の早期発見のため、**こまめな水道メーターの点検**を心掛けましょう。

点検のしかた

すべての蛇口を閉めて量水器（水道メーター）の中の**コマ**が回っていないかを見ます。**コマがゆっくりでも回っていたら漏水**していますので、指定水道工事店へ修理を依頼してください。



担当：水道経営課料金係 内線2226

ホームページ開設

水道部では、独自のホームページ「**いるまの水**」を開設しています。事業内容や経営状況、水質検査結果、各種問い合わせへの対応など多くの内容を掲載しています。どうぞご利用ください!!

アドレスは <http://www.city.iruma.saitama.jp/water/mizuindex.htm>（入間市公式ホームページからのアクセスも可能。）